

組織目標評価報告書（平成21年度）

部局名： 社会文化科学研究科

組織目標		達成状況(成果)		
教 育	博士前期課程と後期課程の定員見直しの検討を含め、将来構想を検討する。 大学院教育の実質化推進 ・博士五年一貫教育制度の構築に向けた検討 ・中国東北地区の大学からの学生の受け入れ促進と連携強化 ・e-learningを用いた遠隔地教育の実施と中国銀行寄附金の有効活用 ・「地域公共政策コース」の教育実施体制の更なる充実と確立 大学院GPの獲得 海外入試の実施と入学者選抜方法の再検討 学生支援の強化 ・研究環境整備と金銭的支援	国際交流・社会貢献のあり方を含めて将来構想を検討し、それに基づいて定員・専攻の抜本的見直しを進めている。 学生の研究指導については、論文作成プロセスの管理を含めてインタラクティブな体制を拡充し大学院教育の実質化をはかっている。 博士五年一貫教育については、検討の結果、当面これは見合わせ、学部との連携を強化することにした。 吉林大学、東北師範大学との博士課程のダブルディグリー制度にかんする協定を締結するなど、中国東北地区の大学からの学生の受け入れと連携を強化している。 組織経営専攻を中心にCe-learningを用いた教育を実施している。 中国銀行寄附金については、「岡山大学グローバルセミナー」を開催した。 地域公共政策コースに関しては、地域創生ネットワークAGORAを作り、これと連携しながら教育実施体制を充実させている。 GPの獲得についてはGPの募集がなかった。 吉林大学と東北師範大学で海外入試を実施した。 学会参加への金銭的支援を行った。		
	達成度: 4 3 2 1			
	東アジアの諸大学を中心とした共同研究プロジェクト等の実施 海外の研究交流提携校の拡大 研究プロジェクトの実施 紀要(研究誌)改革一特に海外への研究教育成果の発信の拠点づくり ・国内外に開かれた学術誌へ ・査読誌へ 国内外の査読付き学術誌への積極的に投稿の推進	東アジアの諸大学を中心とした「越境地域間協力」「東北アジアの幸福観」などをテーマとした共同研究プロジェクトを行い、「越境地域間協力」については三巻本の研究書、「東北アジアの幸福観」についてはシンポジウムの形で成果をだした。これ以外にも各学系において複数の共同研究が進行しており、シンポジウム等を開催している。 吉林大学・東北師範大学など中国を中心に研究交流を拡大し、さらに中国の中央財経大学、ヨーロッパのストラスブール大学、韓国の高麗大学、成均館大学、国民大学、江原大学などの諸大学と研究交流協定の締結に向けての交渉中である。 紀要の改革を検討したが、これは組織変更とともに、紀要の再編・充実を図ることとした。 経済系を中心に査読付き学術誌への投稿を推進している。		
達成度: 4 3 2 1				
社 会 貢 献	公開講座・公開シンポジウムなどを通じて、社会文化科学研究科の研究成果を一般に発信してゆく。 専門家の再教育や一般社会人の学習支援に通じる研究会などのあり方を検討する。	公開講座「中国・EU・日本-越境地域協力の可能性」、公開シンポジウム「東北アジアの幸福観」などを行い、研究成果を発表した。これ以外にも地元も専門家を交えた研究会、シンポジウムなどが精力的に行われている。 地域創生ネットワークAGORAを結成し、地方の官民各界と連携しながら各種講演会などを企画し、専門家、地方の政治家、官僚の意見交換・再教育や一般社会人の学習支援を行っている。		
	達成度: 4 3 2 1			
客 観 的 指 標	nituite	前年	今年の目標	達成状況
	学部入試倍率	該当しない	該当しない	
	大学院充足率	博士前期課程 115% 博士後期課程 250%	100% 引き下げに努める	
	科研費申請率	77.4%	前年の申請率を上回るようにする	76.10%
	科研費採択率	26.3%(新規分)	前年の採択率を上回るようにする	27.5%(新規分)
	共同研究件数	0	獲得に努める	
	受託研究件数	0	獲得に努める	
	留年・休学・退学者数	博士前期課程 33・33・5 博士後期課程 44・29・6	(今年の状況) 削減に努める	
就職率	博士前期課程 76% 博士後期課程 57%	前期課程では引上げに努める		
【自己評価総括記述欄】※目標及び指標の達成状況について総括し、次年度に向けた改善点を記載してください。				

【達成度】4:非常に優れている 3:良好である 2:概ね良好であるが改善の余地あり 1:不十分であり改善を要する

注)本様式は一般的な学部・研究科用であり、部局の特性に合わせて設定した領域・指標により修正してください。

[組織目標一覧](#)